



# 落穂会だより

春季号 2018.4

社会福祉法人 落穂会 障害児入所施設 あさひが丘学園 (Tel 238-4821) <http://www.asahigaokagakuen.jp/>

障害者支援施設 あさひが丘 (Tel 238-4821)

地域生活支援センター あさひが丘 (Tel 243-1112) <http://www.asahi-center.com/>

障害者支援施設 旭福祉センター (Tel 244-3551)

障害福祉サービス事業 第二旭福祉センター (Tel 244-3551)



## あさひが丘学園 体育館を地域の皆様に 開放します

あさひが丘学園は、昭和四十九年八月に永吉町から現在の皆与志町へ移転してまいりました。移転に向けた工事着工が、そのちょうど二年前の昭和四十八年八月で、二ヵ月後の十月には、居住棟に先駆けて機能訓練棟が完成しました。つまり、皆与志町で皆様に認知されるようになったから現在に至るまで、築四十四年の歴史の一部始終を見守ってきた当該施設内における一番古い建物です。

その歴史ある訓練棟も、昨年末の耐震化工事に伴い、壁面や床面の張替え工事も同時進行し、新たに生まれ変わりました。名称も体育館に変更し、日中の運動プログラムや休日の余暇活動に活用されています。一月二十七日には、いわゆる「こけら落とし」のようなイベントとして音楽療法の講師とお仲間の方々に先春コンサートを開催致しました。また、つい先日はダンボールハウス工作のワークショップを開催するなど、今後幅広い用途があるように感じています。例えば、ダンスの練習をしたいけど空きスペースがなかったり、室内の球技練習場所が確保できない等でお困りの経験はありませんか。専用の器具があるわけではありませんが、約10m×16mの空間を遊ばせておく手はあります。このような空間をお探しの地域の方には、喜んで開放したいと思っております。

これまでお伝えしてきましたが、私たちは地域の皆様との交流をさらに深め、より身近な関係を構築したいと考えています。お陰さまで地域の皆様には、秋まつりやワークショップを通じて施設に足を運んで頂く機会が増えて参りました。これらのイベント以外にも、前述した体育館に限らず、地域生活支援センターの会議室やその他の設備等を日常的に利用していただきたいと思っております。まずは、お気軽にお尋ね下さい。

### 新任職員紹介

- ◆ 障害児入所施設あさひが丘学園  
追田 陽花 保育士  
子供達の成長を日々感じながら、自身の理想とする保育士を目指して努力して参ります。よろしくお願ひ致します。
- ◆ 障害者支援施設あさひが丘  
田中 亜衣梨 支援員  
笑顔で利用者の方々が過ごせるよう努めていきます。よろしくお願ひ致します。
- 吉留 輝 支援員  
少しでも早く仕事を覚え、何事も一生懸命に取り組んでいきます。
- ◆ 地域生活支援センターあさひが丘  
安藤 忍  
乗馬インストラクター  
馬を通じて、利用者の皆様が笑顔になるよう、支援していきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。
- 幸得 恵 看護師  
利用者様が日々、笑顔で過ごせるよう頑張りたいと思ひます。

## 「春山棒踊り」復活

3月11日、地域の伝統芸能である「春山棒踊り」が、20数年の時を経て、神社奉納3月踊り「ふるさと祭り」として復活しました。

前日の準備段階より、地域の皆さんと共に、境内の掃除を行い、会場にテントを張り、旗を立てる作業に携わった利用者さんからは、「楽しみだね。」との声が聞かれました。

当日は、春の訪れを感じる陽気の中、神社を囲む木々の間から射し込む光に照らされた「五色の大旗」の下、舞を奉納する踊り手達の姿を、地域の皆さんと共に観て来ました。

今後も、地域の伝統芸能を存続出来るように、奉納舞を見た利用者さんから、次の踊り手が出てくるかもしれませんね。



## ベーカリー楓 オススメ!

ベーカリー楓ではベーグルを販売しています！利用者の末永さんとレシピを考案し、試作を重ねて商品化しました！ココア味とカレー味の二種類展開ですので、ぜひご賞味ください！





◆ 行事報告 ◆

○1月5日(金) 県知的障害者福祉協会主催 新成人を祝う会
あさひが丘から5名、地域生活支援センターから1名の計6名の利用者に、保護者6名職員3名で参加してきました。...

○1月13~14日 家族並びに施設職員研修会
あさひが丘から保護者3名、職員2名が参加しました。他事業所の職員や家族と語り合い楽しい研修となりました。

○1月14日(日) グループホーム新年会及び古希のお祝い
毎年恒例のあさひが丘グループホーム新年会をパレスイン鹿児島で行いました。...

○1月20日、21日 児童部冬季外出①・②
あさひが丘学園の児童部では、サングリーン、水族館、カラオケ、動物園と個々の希望にあった場所に出掛け楽しみました。

○1月26日(金) 第3回あさひが丘テーマ別研修 及びKGSN第1回鹿児島県域研修会
あさひが丘で第3回目となるテーマ別研修を行いました。講師には、品川区立品川児童学園施設長 光真坊浩史氏(元厚生労働省障害児支援専門官)を招き全体講義、午後からは事例検討会議を行いました。

○1月27日~30日 ナイスハートバザールin鹿児島
山形屋で行われたナイスハートバザールに参加しました。利用者みなさんもスーツを来て販売の手伝いをしてくださいました。...

○1月27日(土) 第12回 高木バンド新春コンサート
あさひが丘の体育館改築完成にあわせ高木バンド新春コンサートが開催されました。紙芝居や手品、声楽からオカリナ、バイオリン演奏に盛り上がりでした。

○2月4日(日) 旭福祉センター新年会
サンロイヤルホテルで新年会を行いました。保護者と一緒にカラオケを歌い、余興を楽しんだ後には、毎年恒例のお楽しみ抽選会で大盛り上がりでした。...

○2月13日(火) 大正琴おさらい会 旭福祉センター
山形屋での大正琴おさらい会に参加してきました。この日のためにみんなで練習を重ねました。...

○2月16日(金) バイクン誕生会
あさひが丘の利用者の皆さんに大人気のバイクンでは、オムライスやハンバーグ、ケーキなど色とりどりのメニューが並べられお代わりの列もできるなど大好評でした。...

○2月18日(日) ライオンズクラブ豆まき
鹿児島中央ライオンズクラブ5名の方々に来て頂き、あさひが丘学園児童部の子ども達と一緒に豆まきを行いました。...

○2月18日、25日/3月4日、11日 1日旅行(出水)
旭福祉センターでは、出水・川内方面に1日旅行へ出かけました。グループに分かれて、それぞれいちご狩りやクルージングなどを楽しみました。...

○3月1日~2日 農福連携マルシェ春の収穫祭
アミュ広場での農福連携マルシェでは、旭福祉センターで育てている野菜とその加工品を中心に販売しました。...

○3月4日(日) 第3回あさひやワークショップ
詳細は4ページをご覧ください。

○3月9日 木下大サーカス
南日本新聞社から県・市の社会福祉協議会に寄贈していただいた木下大サーカス招待券のお礼として、旭福祉センターとゆうかり学園から施設で育てた花を贈りました。...

○3月9日(金) 鶴丸高等学校施設訪問
あさひが丘に総勢50名で職場訪問にこられました。それぞれ日中活動やあすもねの各グループにわかれ、交流をしました。

○3月10日・11日 ベーカリ楓パン作り体験教室
詳細は4ページをご覧ください。

○3月6日~7日 吉田南中学校職場体験実習
3月6日~7日の2日間、吉田南中学校2年生3名が児童発達支援センター歩路とワークショップあすもねで職場体験実習を行いました。...

平成三十一年度 運営方針

あさひが丘学園 障害者支援施設あさひが丘 地域生活支援センターあさひが丘 ガーデンキッズ 統括施設長 水 流 純 大

あさひが丘関係施設における今年度の重点目標は以下のとおりである。

【重点テーマ】
①社会福祉法人落穂会職員必携書「共生と共創」をしっかりと読み込み、それに基づいた支援を行います。
②利用者が暮らす地域社会との関係をより一層深めます。

【重点目標】
(一) 職員必携の活用
各チームで定期的に職員必携書「共生と共創」の読み合わせを行う。また、行動指針マニュアルに掲げている七項目について具体的に行動する。

(二) 地域貢献活動
①地域住民としての関係作りと協力
職員必携書の「地域の方との関係性の構築」を読み込み、所属の事業所が関連している箇所に継続して取り組む。すでに実施しているイベント等にもあらたなアイデアを取り入れ、「地域との関係形成」を加速させる。

(三) 組織間連携の充実を図る
①チーム内、チーム間、部門間、事業所間の連携について、各部門の課題に合わせ、具体的に目標を掲げ取り組む。
②各種会議の質の向上について、議案の工夫や課題や目的を明確にし、会議の活発化を図る。会議の効率化を図り、会議時間を二十%以上

短縮することを目標とする。
③会議での決定事項の確実な実行の為、進捗報告や議事録の回覧を行い、決定事項の確実な実行に努める。

(二) 人材育成の充実を図る
①新人職員が業務内外のいろいろな相談を気軽に伝えるチューター制度の充実を図る。支援課長と副センター長が三ヶ月に一回チューターと新任職員へそれぞれに面談を行い必要なアドバイスを行う。併せて中途採用職員が職場環境に馴染める様な研修を実施する。
②自らの事業所を深く理解する為に、法人内での中堅職員の案内による事業所案内会を実施する。
③事例検討会議、DVD視聴会等の自主的な勉強会の機会を提供し、職員の資質向上を図る。

(三) 職場環境の充実を図る
①職場環境の充実を図るため、チーム会議等で職員からの自発的な提案が積極的に出る機会を設け、良いものはスピーディーに実行する。
②年次有給休暇を一人当たり年間十日以上取得することを目標とし、また、全職員が年一回以上六連休または四連休を二回以上とれるようにする。

(四) リスクマネジメントへの取り組みを強化する
①備蓄品の品質管理を行うと共に、訓練の中で飲料水、食糧などの備蓄品を使用する機会を設ける。
②緊急時の対策として自治会との連携を図り、自治会長を含めた地域との連絡体制を整備する。
③ヒヤリハット報告ならびに事故報告書を分析し、事故を起こさないような対策を講じる。

(五) 地域社会に向けての取り組みの充実を図る
①児童発達支援センター・児童発達支援事業所において公開療育を実施するとともに、保健センターや近隣の幼稚園・保育園・学校・児童発達支援事業所等との連絡会を開催し、児童発達支援センターとしての役割を担う。
②ペアレントプログラムや保護者会を実施し、保護者が子育てに活用できる情報を伝えることで、親子が良好な関係を築きながら地域の中で安心して過ごせるように努める。
③「あさひが丘サポーター制度」については、あさひが丘事業所のイベントに協力を頂いた全ての方を対象にバッジを配布し、サポーターの拡充を図る。
④ホームページ、インスタグラム等のSNSを活用し、タイムリーな情報発信を行う。
(六) 新たな事業展開のための施設整備を行う
①新たなグループホーム二棟を平成三十一年度中に建設し、平成三十一年四月からの開設を目指す。障害

②社会生活を営むことに困難を抱えている人々への支援
地域社会における公益的な活動として昨年度から取り組んでいる生活困窮者への支援について、「NPO法人かごしまホームレス生活者支えあう会」「NPO法人やどかりサポーター会」に相談員を派遣し、引き続き協力を行うとともに、今年度から鹿児島県社会福祉法人経営者協議会が実施する「かごしまおもいやりネットワーク事業」に参画する。
(三) 上質で快適な生活
利用者が健康で快適な生活を送ることができるよう、常に清潔で安全な生活環境を保つように努める。

②社会生活を営むことに困難を抱えている人々への支援
地域社会における公益的な活動として昨年度から取り組んでいる生活困窮者への支援について、「NPO法人かごしまホームレス生活者支えあう会」「NPO法人やどかりサポーター会」に相談員を派遣し、引き続き協力を行うとともに、今年度から鹿児島県社会福祉法人経営者協議会が実施する「かごしまおもいやりネットワーク事業」に参画する。





旭福祉センター 利用者 篠山 雄大

### 「楽しい、野菜班」

さんほみち

僕は旭福祉センターに入所して十年になりました。おもに作業内容は野菜の袋づめや野菜の計りや野菜の収穫です。小松菜と大根葉と法蓮草を作ります。小松菜のタイヨー納品に行ったり菓子とみその納品をする他に機械(草刈機)や深耕機の使い方などの作業をしています。

特に注意するのはレバーを引くのを間違えないようにそうさすのがむずかしいです。タイヨー納品でときたま数をかぞえまちがえたりすることがあります。

あと三月からは大田歯科という歯医者に行ったりちりょうをしたり、歯をクリーニングしたり、しせきを取ったりします。

家族のみなさん一けんめい作業を頑張りたいのでおうえんよろしくお願いします。

### 「あさひが丘学園と共に」

あさひが丘 保護者 池 恭子

あまり鳴らない電話に、「学園」の文字が表示されると、まず色んなことを瞬時にシミュレーションしてから、「すみません。また何かありましたか。」と、電話に出る私がいま「お母さん、違いますよ。落ち着いていますよ。」と答えてくださ

る学園の先生の言葉に安堵することが増えてきました。そんな息子も無事に成人を迎えることができました。今、日中一科、シュバル、ショートステイと利用させてもらっています。息子が学園に初めてお世話になったのは、階段を上るのもまだ覚束無い年長の時、祖母の容態が悪く病院の付添や親戚の送迎でどうしようもなく、朝から夕方まで連日お願いしました。「今日の迎えはパパだからね。」と言うと、バイバイをして後ろを振り向くことなく学園の廊下を駆け出して行く様子に、安心して預けることができました。

初めてのお泊りも学園でした。小学校二年生の時、親としては心配でたまらず、夜に電話して様子を聞くと、「大丈夫ですよ。安心して下さいね。」と、忙しい勤務の中に答えてくださったお礼の言葉に、ほっとしたことを昨日のことのように思い出します。

その後、五年間の種子島での生活から帰ってきてからも我路や児童部でお世話になりました。特に、養護学校高等部の時、急に体調を崩して入院をした後、母親である私への固執が輪をかけて強くなり、通学バスにも乗れず学校に送っても車から降りられずの状態が続きました。通学バスには主人が連れて行くと乗れるようになりましたが、主人が不在の時はバス停で大暴れです。時間も刻々と進み、どうしようなくなり、無理は承知で学園に連絡をしました。「連れてきてください。待っていますよ。」の言葉に甘え学園に行くと、先生方が色んな手段で車から降りしてくださり、バタバタと仕事に

### 「両親への想い」



あさひが丘学園 職員 上之園 綾子

向かうことができました。そして毎回、私が息子の目の前からいなくなると人が変わったかのように平然とする様子が、どう接していけばいいのかと悩む日々が続きました。そんな時、「大変な時は頼ってくださいね。無理しないでください。」と言ってくれた学園のスタッフの言葉に、年甲斐もなく号泣してしまいました。仕事も家事も子育ても介護も頑張らなきゃと、一番大変だった時にかけてくださったその言葉のおかげで、今まだ頑張っていると思います。「頼れる場所である学園、頼れる人である職員の方々がいる。今の息子と私たち家族の大きな支えです。週末に迎えに行くと、ダッシュで玄関までやってきて、学園で起こった出来事をたくさんサインで伝えてくれます。四月に頂く顔写真の職員紹介は、親子の会話に欠かせません。これからも息子がすこしでも成長できるように、学園の皆様と共に時を重ねていきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。

社会人八年目が経とうとしており、親元を離れて八年になります。短大時代入っていたサークルがきっかけで、障害についてもっと知りたい、子どもに関わりたいという気持ち芽生えました。短大時代の実習を通して、自分が進みたい道を決め、両親に伝えた時、知識も経験もない私を「本当に大丈夫？頑張れる？」と

さんほみち

者支援施設入所者の地域移行を図り、障害者支援施設の全室個室化を行う。  
②新たな児童発達支援事業所(定員十名) 放課後等デイサービス事業所(定員十名)を開設する。  
③給水設備工事を実施する。  
④新たな作業棟の建設について、日中活動の体制変更を含めて検討を行う。

(七) 利用者の権利擁護の取り組みを推進する  
①司法書士と連携して、利用者の成年後見制度の利用を支援する。  
②各事業所に虐待防止マネージャーを配置し、人権侵害防止の取り組みを推進する。  
③児童虐待や障害者虐待の早期発見に努め、疑いのあるケースを発見した場合は関係機関と連携し、対応策を講じる。

### 旭福祉センター 第二旭福祉センター

第二旭福祉センター施設長 水流 健一

昨年四月の改正社会福祉法で規定された「地域における公益的な取組を実施する責務(社会福祉法人は地域と密接に繋がり、地域に必要とされているサービスの提供や交流に務めていくことが使命であると示された。」「組織経営(ガバナンスの強化)のあり方の見直し」等といった社会福祉法人制度改革に続き、平成

三十年四月より障害者総合支援法の一部改正と障害者福祉サービスに関する報酬改定が施行を迎えます。我々が携わる福祉の分野は、今後も更なる制度改革と規制緩和、厳しい報酬改定にさらされていくことが予想されますが、そのような中でも社会福祉法人として地域に貢献していくことが求められています。私たちは今後とも地域から必要とされる施設を目指し、職員一体となって下記の重点目標を掲げ、更なる資質の向上を図って参ります。

#### (一) 利用者のニーズに合わせた質の高い支援の提供

利用者の個別ニーズを作業・生活両面からの視点で的確に把握し、ニーズに合った短期目標・長期目標を支援計画に掲げ利用者支援の向上を図る。昨年度に引き続き生活介護事業の支援カリキュラムの見直しを行う。また、支援実践面での資質の向上を目指し、権利擁護・虐待防止に関わる研修等を今年度も引き続き全職員対象に行い、より充実した支援体制を確立させる。

#### (二) 家族との連携強化

年三回の家族代表者委員会、毎年八月の家族総会、一月の新年会など家族との連携を強化する。また、福祉施策の動向について家族への情報提供を行う。

#### (三) 職員育成制度の円滑な実施

二十九年年度に一部改定した新人・

中堅育成システムの円滑な運用に務める。

- ①職員行動チェックリスト(倫理・行動面)の運用について、今年度も確実に実施する。
- ②作業別別育成シートの運用について、未作成(炊事班)のシートを完成させる。合わせて全作業班の育成シート運用を確実に実施する。また、実施状況の確認・見直し対策として作業委員会主催による育成担当職員との協議の場を設け、作業面における計画的な資質の向上を図る。
- ③チューター制度の実施及び実施後のフォローアップを確実にを行い、経験の少ない職員のケアと資質の向上を図る。
- ④中堅職員育成計画の二年目となる今年度は、スキルアップ研修とグループディスカッションを一回ずつ実施する。

#### (四) 就労支援に関する情報収集・強化

引き続き就労移行支援事業についての体制強化を図る。今年度は二十九年年度に作成した就労移行支援マニュアルの実施活用を図り、就労希望者のスキル向上に繋げる。また、昨年に引き続き先駆的な事業所などを訪問・見学し、この分野における研鑽を深めていく。

#### (五) 地域密着型施設としての活動を推進

今年度は岡之原町内会の三班と十班の受け入れを実施予定。また、棒踊り保存会への出席を含め地域

に密着した施設を目指し、積極的に地域行事や地域活動に参加する。各部署(入所施設・第二作業所・楓NODOKA・各グループホーム)は、それぞれの部署において近隣住民との交流を深めるよう努める。

#### (六) 各作業班別の重点目標

- NODOKA 集客率アップ・接客サービス向上・新メニュー開発
- 楓(菓子班) 人材育成シートの活用・楓全体のスキルアップ・協働体制の確立
- 木工 職員間の連携強化・育成シート活用・利用者支援の充実と支援技術の向上
- 蔬菜 協働体制の確立・人材育成・地域住民との交流
- 陶芸 協働体制の確立・地域住民との交流
- メンテナンス 育成シートを活用した人材育成・研修カリキュラムの立案と実施
- 味噌 人材育成(育成シート活用)・販路拡大





グループホーム新年会及び古希のお祝い

地域生活支援センター

新年会



旭福祉センター



講師 品川区立品川児童学園 施設長 光真坊浩史氏

第3回あさひが丘テーマ別研修及びKGSN第1回鹿児島県域研修会

あさひが丘学園



たのしい大正琴発表会

旭福祉センター



あさひが丘学園

すなっふスナッブ

ライオンズクラブ豆まき



旭福祉センター

農福マルシェ



鶴丸高等学校 医療福祉施設 訪問学習

あさひが丘学園



旭福祉センター

一日旅行



高木バンド クリスマスコンサート

あさひが丘学園



旭福祉センター

木下大サーカス

# 第5回 ASAHIYAワークショップ開催!!

3月4日(日)、第5回あさひやワークショップが開催されました。今回は、陶芸・レザークラフトに加えて、NPO法人PandAのご協力のもと、ミニチュアダンボールハウス作りを行いました。実施するに至った経緯として、秋まつりにも出演して頂いた春山地区棒踊りのメンバーの方よりPandAを紹介して頂き、「地域の人と障害のある人との交流の場として、一緒にやってみませんか。」という思いが合致し、今回の開催となりました。

今回は、全体で32家族91名の方に参加していただきました。初めての参加の方がほとんどでしたが、リピーターの方の参加も数名ありました。

初開催となった、ミニチュアダンボールハウスでは、ダンボールを組み立てた、ミニチュアハウスに絵を描いたり、どんぐりや葉っぱを貼り付けたりと、思い思いに制作されており、独創的なオンリーワンの作品が出来上がっていました。また、学園児童部の参加もあり、児童部の子ども達と参加者の間で「次は何するの?」などの会話も聞かれ、良い交流の場となったようでした。

今後も、沢山の皆様と楽しい時間を過ごせる様、様々なイベント開催ができるよう努めたいと思います。



# ベーカリー楓 パン作り体験教室開催!!

ベーカリー楓では3月10日・11日にパン作り体験教室を開きました!今回で3回目となる体験教室には、2日間で13組35名と多くの方にご参加いただきました。

生地を手で捏ね、チョコやクリームを包み、それぞれ好きな形に飾り付けて……。空き時間にはアイシングクッキー体験も行い、充実した時間となりました。

粉の状態からパンを作るのが初めてという方も多く、アンケートでは楽しかったとの声をいただくことができ、嬉しい限りです。利用者の方にもお手伝いをしてもらい良い交流の場にもなりました。

